

## 大阪城トライアスロン 2024 ローカルルール

### [はじめに]

本大会は「日本トライアスロン連合（JTU）競技規則」に加え、「大阪城トライアスロン 2024 ローカルルール」(本ルール)を設定して競技を行う。

### [大会運営]

1. 競技中であっても、緊急車両の通行を最優先する。緊急車両が通行する際には警察・審判員（以下 TO）・スタッフの指示に従い、状況に応じて徐行または停止すること。
2. 競技以外でもバイクに乗車する場合は、ヘルメットを着用した上で交通規則に従い走行すること。なお、大阪城公園内のバイクコース試走は禁止する。
3. 定められた受付時間に遅れた場合、大会に出場することはできない。また当日の体温が 37.5℃ 以上の選手は出場できない。
4. 選手は大会プログラム（選手受付・トランジションエリアへの出入・スタート地点への集合・各競技の制限時間・バイクピックアップなど）の時間を守らなければならない。
5. 大会プログラムの変更告知は、大会本部前の提示・会場でのアナウンス等によるものとし、選手は各自の責任で変更事項について注意を払わなければならない。定められた時間に遅れる行為は、ペナルティーの対象または失格となる場合がある。
6. 体調や時間制限などにより、競技の続行が不可能と判断した選手に対しては、審判長（以下 HR）の判断によって競技終了を宣告することがある。
7. 大会は雨天決行とするが、選手の安全確保が困難と判断される場合、または競技の実施に大きく影響を与える事象が起こった場合は、コース・競技の内容を変更または中止することがある。

### [競技と装備]

1. 選手は各自でボディナンバーを貼付して競技に参加すること。貼付場所は両腕外側の計 2 か所を基本とする。
2. 競技における周回の計測はアンクルバンドによって行い、周回数のカウントは選手の自己責任とする。
3. 各競技において周回不足・ショートカット・U ターン箇所の間違い等で、規定の競技距離をカバーしていない場合は失格とする。
3. リタイアする場合は、必ず選手本人が大会本部または TO にアンクルバンドを提出すること。
4. フロントファスナーのレースウェア着用を認めるが、競技中はファスナーを胸骨より下に開けることはできない。
5. レースナンバーはバイク競技時には後方から、ラン競技時には前方から番号が見えるよう装着すること。1 枚のレースナンバーを競技によって前後に移動することを認める。
6. レースナンバーが破ける、または外れた場合、TO・係員が確認できるように提示するか、競技中に付

け直せば、競技の続行を認める。

7. 競技中のイヤホン・ヘッドホン・スマートフォン等の使用は禁止する。

#### [ペナルティー]

1. JIU 競技規則およびローカルルールに違反する行為に対しては、ペナルティーを与える。また他の選手・TO・スタッフ等への不適切な言動も、ペナルティーの対象とする。
2. ペナルティーの種類は以下の通り。
  - ① 一時停止を含む指導
  - ② タイムペナルティー
  - ③ 失格 (DSQ)
  - ④ 競技からの除外
3. タイムペナルティーは以下の通り。
  - ① ドラフティング違反 スタンダード：2分 スプリント/リレー：1分
  - ② その他の違反 スタンダード：15秒 スプリント/リレー：10秒ただし、受付やその他の制限時間に遅れる行為に対してはこの限りではない。
4. 違反によりタイムペナルティーを課された選手は、ペナルティーボードに掲示している番号を確認し、自らペナルティーボックスに入らなければならない。入らずにレースが終了した場合、当該選手を失格とする。なお、TO からの通知や誘導は行わない。
5. 失格 (DSQ) は危険行為およびスポーツマン精神に反する行為があった場合、競技からの除外は、さらに重大な行為があった場合に即時適用される。これらのペナルティーの適用は HR の裁量によって決定する。

#### [エイドステーション]

1. エイドステーションはスイムスタートエリア前に 1カ所、ランコース上に 1カ所設置する。各エイドで提供するのの水のみとする。
2. エイドステーションで提供する紙コップは、必ず所定のゴミ箱に捨てること。公園内・コース上・公道への投げ捨てを禁止し、違反者はタイムペナルティーの対象とする。

#### [スイム競技]

1. 選手は入水チェック終了の時間までにスタートエリアに入らなければならない。また、一度スタートエリアに入った選手は、スイム競技が終了するまで出ることができない。
2. JIU 競技規則 (第 67 条) を満たしたウエットスーツ (上下) の着用を義務とし、水着やトライアスロンウェアだけの参加は認めない。
3. スイムキャップは、大会が支給したものを着用しなければならない。
4. スタートは各ウエーブ内のグループごとに、2分間隔での一斉スタートとする。
5. スイム競技をスキップ (棄権) し、バイクとラン競技だけを行なうことができる。ただし記録は出ない

- (SKIP)。スキップを希望する選手はスイムのスタート前までにスイム TO に申告すること。
6. リレー競技では、スイム選手が途中棄権、または時間超過の場合でも、バイク競技からのスタートを認める。ただし記録は出ない (SKIP)。スタート時間は別途設定する。
  7. スイム競技のスキップを選択した選手に対しては、バイク競技のスタート時間を指定し、スタート場所をトランジションエリア内に定める。
  8. 競技中に小休止することを認める。救助を必要とする場合は片手を頭の上で振り、声を出して救助を求めること。
  9. レスチューブの着用を認める。ただし競技中にチューブを使用した時点でライフセーバーによる救助を行い、競技は終了とする (DNF)。
  10. 大会で用意する風船を目印として装着することを認める。希望する選手はアングルバンド配布場所で申告すること。
  11. 制限時間内であっても、TO・ライフセーバーが安全上競技の続行が不可能と判断した場合には、該当選手に対して競技終了の宣告をすることがある。

#### [トランジション]

1. 選手は、定められた時間帯に限りトランジションエリア (以下エリア) で競技備品のセッティングを行うことができる。閉鎖時間以降はエリア内での作業を一切認めない。閉鎖時間に遅れた選手、および閉鎖後に作業をしている選手は失格となる場合がある。
2. エリア内への選手以外 (コーチ・家族・関係者など) の出入を禁止する
3. エリア内に持込めるのは競技に最低限必要な備品のみとし、その他の荷物 (クーラーボックス・荷物カゴ・カバンなど) の持ち込みは認めない。また、競技備品は選手の妨げにならないよう、各自のスペース内に設置しなければならない。
4. TO は公平な競技運営を確保するため、選手の備品を移動する場合がある。
5. ラックにウエットスーツ、タオル等を掛ける行為はマーキングとみなし、TO がこれらを移動する。
6. バイクをラックに掛ける時は (スイム終了後・バイク終了後のどちらも) 自分のラックナンバーが見える側にハンドルバーが来るように、サドルを掛けること。向きを逆にした場合は、他の選手に対する妨害行為とみなす。
7. ヘルメットは必ずストラップを外した状態でセッティングし、ラックからバイクを取り出す前に装着してからストラップを締めること。バイク競技のフィニッシュ後は、バイクをラックに掛けた後にストラップを外すこと。
8. ヘルメットのストラップは、あごにしっかりフィットしていなければならない。TO が不適切と判断した場合は、競技中であっても一時停止を求める場合がある。
9. エリア内でバイクに乗車することを禁止する。
10. 乗車・降車エリアでは、乗車時はラインを超えて足を 1 歩以上ついてから乗車し、降車時はラインの手前で足を 1 歩以上ついてから降車すること。
11. 競技備品とバイクの回収は、定められた時間に必ず選手本人が来場し、レースナンバーまたはボディナンバーを出入口で係員に提示すること。

#### [バイク競技]

1. 前日および当日のバイクチェックと預託は行わないため、各自の責任においてバイクの整備・保管を行うこと。
2. エイジ競技には JTU 競技規則に従ったトライアスロン専用バイク、またはロードレーサーのみ出場を認める。クロスバイク・マウンテンバイク・ミニベロなどの参加は認めない。
3. リレー競技のみクロスバイクによる出場を認める。ただしハンドル幅は 50cm 以下とし、バーエンドグリップの装着は禁止する。
4. すべての競技において、ライト・ベル・スタンド・カメラ・スマートフォンなど、競技に必要な無い機器は前もって取り外さなければ、参加を認めない。
5. エアロバー（DH バー）の使用を認める。ただしハンドルバーも含めたバーのエンドキャップが外れている場合は、その部分を塞がなければ参加を認めない。
6. エアロヘルメット、ディスクホイール（後輪のみ）を使用することを認める。
7. 周回数を管理するために、サイクルコンピューターの装着を推奨する。ただし、スマートフォンの装着は禁止する。
8. バイクコース上にエイドの設置が無いため、バイク専用のボトルによる給水を推奨する。ただし、ペットボトルの装着・使用は禁止する。
9. 以下の区間では追い越し・追い抜きを禁止する。
  - ① 大阪城公園内の全コース
  - ② 全折り返し地点の 50m手前から、および折り返し（Uターン）ゾーン内
  - ③ 最終周回を終えて玉造筋から公園内に戻る、駐車場入口の 50m手前から
10. 本大会ではドラフティング走行を禁止する。ドラフトゾーンは前方選手の前輪先端から後方10mとする。

#### [ラン競技]

1. ランコースは常に左側走行とする。
2. 安全上、裸足またはサンダル等によるラン競技は認めない。

#### [フィニッシュ]

1. 本人確認のため、レースナンバーを前面に装着すること。サングラスを外すことを推奨する。
2. 本大会は同伴フィニッシュを認めない。
3. フィニッシュ後は TO・スタッフの指示に従ってアンクルバンドを外し、所定の場所に返却すること。

[制限時間]

1. 各カテゴリーの競技制限時間は以下の通り（スイムスタート時間から）

<スタンダード>

スイム：1 周目 25 分/2 周回 45 分 バイク：2 時間 30 分 ラン：3 時間 40 分

<スプリント・リレー>

スイム：30 分 バイク：1 時間 25 分 ラン：2 時間 05 分

3. 上記の制限時間を超過した選手に対しては、競技の終了を宣告する。また制限時間内であっても TO・ライフセーバーが競技の続行が不可能、または大会運営に影響があると判断した選手に対しては、競技終了を宣告する。
4. 最終ウェーブのみ、バイク周回の最終関門をバイク競技制限時間の 15 分前に設定する。この時間を超えて次の周回に入ることはいできない。
5. バイク・ランで競技終了を宣告された選手は、速やかにコース外に出て TO にアングルバンドを返却し、その指示に従うこと。

[抗議]

1. 選手は HR の判定およびその他の事項に関して不服がある場合、抗議を行うことができる。ただし、以下の事項に関する抗議は受け入れない。
  - ① ドラフティングおよび走路妨害（ブロック）。
  - ② 暴言・暴力など、スポーツマン精神に反する行為。
2. 抗議を行う場合は、審議委員会に対して行う。本大会の審議委員会は主催者代表・TD・大阪府トライアスロン協会理事により組織される。審議委員会は必要によって関係者に事情聴取を行うことがある。
3. その他の細則は JTU 競技規則に基づく。

競技規則・ルールに関する問い合わせ先

大阪城トライアスロン 2024 競技運営部

oct-tech@optan.jp